



# 港南小学校

## 学校だより

### 1月号

二十四節気・七十二候

#### <1月の二十四節気>

- ・1月6日 小寒  
寒気稍強し
- ・1月20日 大寒  
厳寒を感じ

#### <1月の七十二候>

- ・芹乃栄  
せりすなわちさかう  
→芹がよく生育する
- ・水泉動  
しみずあたたかをふくむ  
→地中で凍った泉が動き始める
- ・杯始鳴  
きじはじめてなく  
→雄の雉が鳴き始める
- ・欽冬華  
ふきののはなさく  
→蔭の臺が蕾を出す
- ・水沢腹堅  
きわみずこおりつめる  
→沢に氷が厚く張りつめる
- ・鶏始乳  
にわとりはじめてとやにつく  
→鶏が卵を産み始める

校長 船木 亮作

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

干支でいうと今年は「寅」年になります。「寅」という字には、「まっすぐに伸ばす、引つ張る」という意味があり、家の中で矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表してします。家を表すうかんむり「宀」に「矢」、ひきとめるという意味の「束」を足して「寅」という文字ができました。中国の漢書では、「寅」は草木が伸び始める状態を表すものとされています。その意味では、子供たちにとっても今まで根を張っていたものが伸びてくる年でもあります。何事にも怯まずチャレンジしてほしいと思います。

先月実施しました「Winter Festa」には、多くの方にご来校いただきありがとうございます。初めての実施方法ということもあり、至らない点があったと思いますが、今後その点を改善してよりよいものにしていきたいと思えます。反面、今まで以上に子供たち一人一人が活躍する場面が多くあり、自分の子供だけでなくほかの子供たちの考え等を聞く良い機会となったというご意見もいただきました。短い期間の中、子供たちは一生懸命「伝えよう」という思いをもって臨んでいたように感じました。今まで行えなかった行事等が実施できるようになり、子供たちの成長がとても感じられた一日となりました。

も少しづつ対話をする機会が増えてきました。十二月に行ったPTAの実行委員会でも何人かの方が対面で参加してくださいました。オンラインでは中々話せなかったことなども顔を突き合わせてお互いの表情などや言葉から同調する場面が生まれてきました。互いに言葉を発し、対話することにより、分かり合える部分が多くなりました。

現在、SNSなどのツールが発達する中で、過激な中傷合戦が実際に起こっています。文字を書いて相手の反応が返ってこない相手への悪意が増幅され、無限にエスカレートしてきます。一方的に感情を吐き出して、対話が成り立たなければ解決に向かうはずはありません。これが対話であれば「反撃する」「融和的な態度をとる」「へつらう」などの反応があります。お互いが反応することにより、次第に調整がついて、解決に向かっていきます。気持ちを分かち合いたいと考えるならばやはり、対面で対話する必要がありますと感じています。言葉の強さ、音程、イントネーション、状況、経験値などによって会話の内容や感じ方は変わってきます。世界に目を向けると各国首脳が重要な国際問題を話し合う時、わざわざ集まって協議をしています。それは、言葉で言い合うだけでなくお互いに談笑したり食事をしたりする中で、互いを理解し合うのだと思います。

このように、一緒の時間を「共有」することで、相手への理解がより深まり、互いに信頼関係が生まれ、手助けするのではないのでしょうか。

### 「決意の一年」

◇あけましておめでとうございます。昨年は保護者や地域の皆様に大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

日本漢字能力検定協会が発表する「今年の漢字」。令和三年は「金」でした。港南の子供たちは令和四年をどのような一年にしたいと考えているのでしょうか。漢字一字で表すとしたら…。

「昨年は〇〇だったから、今年は(も)〇〇したい」と決意の一年にできるよう、家族で発表し合うのも面白いのではないのでしょうか。目標を自己決定し、時に振り返り、次に生かそうとする生き方は「豊かな心」を育むことでしょうか。

◇今年度も外部有識者を招いて「いじめ・不登校対策委員会」を開催しました。いじめや長期欠席児童への対応について、解決の糸口を見付けようと協議をしています。

児童への生活アンケートでは、複数の教員による協力体制で、聞き取りや指導・支援を行っています。その中には、地域や福祉の力を必要とする事例もあります。今年も家庭・地域・学校が一体となって子供たちの豊かな心を育てていきたいと考えています。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南4-3-28  
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

港南小学校HP

## 2月の主な行事予定

- 1日(火) セーフティタイム
  - 2日(水) 下校時刻変更・基礎無し  
保育園学校探検(1年生)
  - 3日(木) 学校保健委員会
  - 4日(金) 漢字検定 下校時刻変更・基礎無し
  - 7日(月) 全校放送 委員会活動 ユニセフ週間始
  - 10日(木) 保護者会(6年生)
  - 14日(月) 全校放送 クラブ活動
  - 15日(火) 新1年生保護者会 ユニセフ募金始
  - 16日(水) 下校時刻変更・基礎無し
  - 19日(土) 卒業・進級を祝う会(わかば)
  - 21日(月) 全校放送
  - 22日(火) 6年生を送る会
  - 23日(水) 天皇誕生日
  - 25日(金) 感謝の会(6年生)
  - 26日(土) クリーン作戦
  - 28日(月) 全校放送
- ※予告なしの避難訓練を行います

## 1月の行事予定

11日	火	土曜時程 始業式 報告書渡し(6年生)
12日	水	下校時刻変更・基礎無し 給食始 書き初め会(1・2・6年生)
13日	木	書き初め会(3・5・6年生)
14日	金	書き初め会(4・5年生)
15日	土	クリーン作戦
16日	日	
17日	月	委員会活動 全校放送
18日	火	薬物乱用防止教室(6年生)
19日	水	
20日	木	歯科検診(予備)
21日	金	学校公開Ⅲ① 書き初め展始 わくわく教室公開 GUT(1・3・5年生)
22日	土	学校公開Ⅲ② 道徳授業地区公開講座 英語検定(希望者)
23日	日	
24日	月	クラブ活動 全校放送 フットサル教室(わかば)
25日	火	フットサル教室(わかば)
26日	水	書き初め展終 フットサル教室(わかば)
27日	木	初釜会(わかば)
28日	金	GUT(1・3・5年生)
29日	土	
30日	日	
31日	月	全校放送

## 副校長より

「よそわれたご飯は一粒も残さずきれいに食べる」「食器を持って食べる」「お箸の使い方に気をつける」「姿勢を崩さない」等々、日本の食卓には、ルールやマナーがあります。これは、お互いに気持ちよく食べたり、感謝して食べたりするためのものです。これらを見てみるとその児童の家庭で様子が分かります。残さなただけでなく、きれいに食べる児童は、家庭で躰けられている様子が浮かびます。食べ散らかしていたりすると家庭で何も言われてないのかなと思

### 美しさを身に付ける

ます。学級でも繰り返し指導をしていますが、なかなかすべての児童たちには定着しません。今、しっかりと指導をしなければ、社会に出て恥をかくのは子供たちです。給食だけではなく、社会にはたくさんのルールやマナーがあります。将来を見据えて、子供たちが困らないよう学校でも指導をしていきます。本年もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(副校長 久道 泰司)

平 裕子

## 港南小学校 Twitter

港南小学校の日々の様子をTwitterにアップしています。ぜひご覧ください。  
<港南小学校 アカウント>  
@konaneschool



	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	27	214	217	223	224	232	221	1358

(1月8日現在)

# Winter Festa

## Winter Festa担当者より

今年度は、各学年で学習したこと  
を発表する学習発表会としてWin-  
ter Festaを行いました。音読  
劇、生活科や総合の学習で調べたこ-  
との発表、群読、音楽の演奏など各  
学年が日頃の学習の成果を発表す  
るよい機会となりました。当日は、お  
子さんの活躍の様子をご覧いただ  
けたことと思います。

保護者の皆様には感染症対策に伴  
いたくさんのご協力をいただきあり  
がとうございました。今後も本校の  
行事にご理解とご協力をいただけ  
れば幸いです。

## (Winter Festa担当)

六年四組担任 高橋 佳大)

## くじらぐも

一年生は、国語の「くじらぐも」の音  
読劇を通して、これまで学習してき  
たことを発表しました。

一場面は、体育で学習した縄跳び  
を取り入れ、二場面は、スポーツフェ  
スタで踊ったあいうえおダンスを披  
露しました。三場面は、音楽で学習し  
た「空のぼうけん」や「チューリップ」  
を演奏しました。

一人一人がパワーゼンかい100%  
で練習に取り組み、本番では大きな  
声で自分の台詞を言ったり、みんな  
息を揃えたりすることができまし  
た。「100%頑張れました」とにこに  
こ笑顔な子供たちでした。

(一年七組担任 栗田 純)

## みんなであいっしょに

二年生は学年目標を意識して地  
域の学習に取り組みました。港南図  
書館、プラリバ、高輪消防署、バス車  
庫、ゆとりーむ、品川駅港南口交番  
緑水公園の七か所へグループに分か  
れて訪問しました。施設内の見学を  
し、質問にも丁寧に答えていただい  
て、子供たちは目を輝かせて探検を  
楽しんでいました。その後は、各グル  
ープが動画、紙芝居、劇などにま  
とめ、Winter Festaで発表しま  
した。当日の発表を聞くと、まるで七  
か所へ「みんなであいっしょに」探検した  
ような気分になりました。

## (二年二組担任 鷹宮 みのり)

## 3.SUN. 運河探検 みんなが先生

みなさんは、港南の町の特色であ  
る運河についてのくらくらご存じです  
か。港南小学校の三年生は、総合的な  
学習の時間で運河について学習をし  
ます。

運河探検に行ったり、海洋少年団  
の方に船に乗せてもらったりして、た  
くさんお話を伺いました。そこで学習  
したことを、一人一人が先生になっ  
て、お家の方へ伝える授業をしたのが  
今回のWinter Festaです。模  
造紙にまとめ、台本を作るなど、初め  
の作業にも友達と協力して、さらに  
一致団結することができました。

(三年三組担任 坂口 千尋)

## みんなの幸せってなんだろう?

四年生は、福祉について六つのテー  
マ(視覚障がい、聴覚障がい、手足の障  
がい、体の内部の障がい、知的障がい、  
発達障がい、精神障がい、子連れ・妊  
婦・高齢者)に分かれて学習しました。  
一人一人が、自分の興味・関心に基  
づいて調べたことを五つの方法(新聞、  
ポスター、動画、パワーポイント、劇)で  
まとめました。自分の言葉で発表する  
のが得意な子、絵が得意な子、文章に  
まとめるのが得意な子などそれぞれ  
が自分の強みを生かした発表となり  
ました。

この学習をきっかけにご家庭で「障  
がい」についてお話しするきっかけにな  
れば幸いです。

(四年二組担任 佐藤 公美)

## 未来に向けて

〜今、できることを考えよう〜  
五年生の総合的な学習の時間のテ  
ーマは「環境」です。環境問題の解決  
に向けて、自分たちにできることはな  
いかクラスで話し合っていました。

食品ロスを減らすために記録をと  
り、家庭での食品ロスの状況を調べた  
クラスや、港南小のゴミの量を調べ、  
ゴミを減らすように呼びかけたクラ  
スなど、自分たちの約半年間の実践  
を舞台で堂々と発表することができ  
ました。

三学期もみんなで協力し、できる  
ことを実践していきたいと思えます。

(五年六組担任 久保田 智洋)

## 「つなぐ」心を一つに最高のメロディーを

六年生は、音楽発表を行いました。  
スポーツフェスタでは、学年の仲間と心  
を一つに最高の演技を目指して努力す  
ることの大切さを実感した子供たち。  
たくさん拍手をもらい、達成感を感じ  
ていました。

「Winter Festaでも、多くの人に  
最高のメロディーを届けたい」  
「小学校生活の集大成として、成長し  
た姿を見せたい」

など、様々な思いを胸に練習を積み重  
ねました。当日は、子供たち自身も満  
足のいく演奏ができました。子供たち  
の成長した姿が届けできていたら嬉  
しいです。

(六年二組担任 檜垣 史)

## 自然となかよし

わかば学級では、四季や天気の変化  
など、身近な自然に目を向け、日常生  
活に生かして欲しいという願いから、年  
間を通して季節の学習に取り組みん  
できました。

「春」では、花のつくりの学習や緑水  
公園での春探し。「夏」では、水遊びや  
屋上農園で収穫したスイカの話。「秋」  
では、サツマイモの調理や校庭の桜の葉  
を使った染め物、秋の歌について、それ  
ぞれ劇仕立てで発表しました。

学習したことを振り返り、発表する  
ことで、さらに学びが深まったと感じま  
す。保護者の方から拍手をいただけて、  
嬉しそうな子供たちでした。

(わかば学級担任 芳賀 綾子)

## クラブ紹介

### 書道クラブ

真剣に作品に取り組んだ後は、自然とお互いの作品を鑑賞し、上手なところを伝え合っています。今後も、子供たちの「やりたい」という気持ちを大切にしながら活動してまいります。

(書道クラブ担当 松川 ゆり)

### 鉄道歴史研究クラブ

鉄道歴史研究クラブでは、「鉄道」について調べるグループと「歴史」について調べるグループに分かれて活動しております。

鉄道グループでは、タブレット端末の特徴を生かし、普段の生活では聞くことのできない地方の駅の発車メモディーを聞いたり、特色のある路線を調べたりしています。また、歴史グループでは、戦争について調べたり、他国の歴史について調べたりしています。普段の授業では扱わないところまで調べ学習をすすめております。引き続き、児童の興味関心に合わせて活動してまいります。

(鉄道歴史研究クラブ担当 出牛 柁輝)

「書道」とは、文字を正しく整えて書くことよりも、文字に感情や個性を表すことに重きを置く芸術の一つです。

書道クラブでは、四年生三名、六年生二名の計五名で活動しています。

一年の活動内容を子供たちと話し合っ決めて決めました。毛筆、硬筆、書初め、など、文字を書く活動に精力的に取り組みました。さらに、篆刻印の作成や、水墨画などにも挑戦しました。

## 国語部より

本校では、毎年、低学年は硬筆、中・高学年は毛筆で、「書き初め会」を行っています。今年は昨年同様、学年を二つに分け、十二日(水)から十四日(金)までの三日間、教室及び体育館で実施します。

書き初めには、「字の上達を願う」「一年の抱負を心新たにする」などの意味があると言われております。本校では、「書き初めの作品を書いたり鑑賞したりすることを通して、文字への関心を高める」「伝統行事の一つである書き初めを行うことを通して、日本の文化に触れる」をねらいとしています。

書く時の姿勢・筆や鉛筆の持ち方を意識し、手本を見て、一字一字丁寧に、正しい字形で書くことができるように二学期から練習してきました。

書き初め会では、今までの練習の成果を発揮してくれることと思います。

(国語部 山崎 葉子)

## 家庭科専科より

十一月より五六年生ともに「ミシン」を使用した作品製作に取り組みました。五年生にとって初めて使用するミシンやアイロンは緊張感をともなう学習になりましたが、どのクラスも生き生きと意欲的に製作に取り組みことができました。

よく子供達に言われることがあります。「図工と家庭科は似ているね。」確かに物を製作する点では似ていますが、家庭科では「生活を豊かにするための製作」を目標としているため「デザインや飾りよりも《使いやすさ・丈夫さ》にこだわって製作してほしい」と児童には伝えていきます。頑張って完成させた作品はぜひ日常生活で使用してほしいと思っています。

(家庭科専科 松田 久美子)